



ktunes
RACING

🇯🇵 M.NITTA 🇯🇵 Y.NAKAYAMA

Super GT 2018 Official Test MOTEGI Report 2018/10/8-9

Test Days Summary

2日間のSUPER GT公式テストで合計189周を走行し最終戦のツインリンクもてぎラウンドを見据えたロングランや予選シミュレーションを実施
充実したテスト内容で、残り2戦での躍進が期待される

Test Days

年間4回の開催が予定されているSUPER GTの公式テスト。第1回と第2回は2018年のシーズン開幕前に岡山国際サーキットと富士スピードウェイで、第3回は4月16日-17日に鈴鹿サーキットで行なわれてきた。そして、公式テストとしては約半年ぶりとなる第4回目がツインリンクもてぎで、10月8日(月)、9日(火)の二日間に亘って実施された。

SUPER GTのシリーズ戦は、9月15日-16日にスポーツランドSUGOで第6戦が開催され、残すは第7戦のオートポリスラウンドと最終戦のツインリンクもてぎラウンドのみとなっている。

LM corsaとタッグを組んで今シーズンから新規参戦することとなった「K-tunes Racing LM corsa」は、第3戦の鈴鹿サーキットラウンドで早くも初優勝を飾り、シリーズランキングでも上位へ進出することが期待された。しかし、初戦や第2戦、第6戦でポイントを取りこぼすなど浮き沈みの激しいシーズンとなってしまった。シーズン残りの2戦では、是が非でもポイントを獲得したいというチームの思いは強く、このテストは重要な走行機会となる。

今回の公式テストは、シリーズの締めくくりとなるツインリンクもてぎが舞台のため、最終戦を見据えたテストプログラムがチームごとに組まれていた。参加したチームはGT500が15台、GT300が25台の計40台。両日ともに2時間の走行枠が2本設けられていて、合計で8時間の走行時間となった。

初日の8日は祝日だったため多くの観客がツインリンクもてぎを訪れ、GTマシンのテストを見届けることになった。1本目のセッションは、予定通りの9時30分にスタート。

まずK-tunes RC F GT3のステアリングを握ったのは中山雄一選手で、持ち込みのセットアップを確認するとともにタイヤの比較テストを実施する。走行開始からすぐに1分48秒台のラップタイムをマークして好調さを示す。セッション序盤と中盤に他車のトラブルやクラッシュによって20分ずつの中絶が発生してしまう。

Test Days

それでもテストプログラムを消化していき、2時間のセッションが後半に入ると新田守男選手が乗り込み、マシンの調整を進めることになった。セッション1は、中山選手が15周、新田選手も同じく15周を走行。ベストタイムは中山選手がマークした1分48秒097で、GT300クラスの25台中6番目の結果を残した。セッション1の終了後にはサーキットサファリが行なわれ、昼休みにはファン対応のオープンピットも実施。

午後のセッション2は14時からスタートし、まずは15分間のセーフティカー訓練が組み込まれていた。セーフティカー訓練からK-tunes RC F GT3には中山選手が乗り込み、そのままテストプログラムをこなす。午前中と同様にタイヤの比較テストに加えて、セットアップを煮詰める作業が続く。5周ほどを走行するとピットに戻り、再びコースインするという流れを繰り返しながら周回を重ねると、午前中よりも厳しいコンディションの中だがタイムは向上していく。セッション開始から1時間半ほど経過すると1分47秒740のベストタイムをマークし、計時モニターでは3番手と表示される。残り30分となったところで新田選手にバトンタッチし、ニュータイヤとユーズドタイヤを履くとともに予選のシミュレーションも行なった。セッション2は、二人のドライバーが計59周を走行し、中山選手が記録したタイムによって6番手の結果となった。

3本目のセッションは、一夜明けた9日の9時30分から開始される。前日と同様で、ツインリンクもてぎはドライコンディションとなり、スタート時の気温は20℃、路面温度は23℃となっていた。このセッションも中山選手からスタートし、10周を走行したところで新田選手がK-tunes RC F GT3に乗り込む。前日からセットアップを進めたマシンの評価を行なったところで、再び中山選手がステアリングを握り、決勝レースを見据えたロングランテストに移行する。中山選手は21周の連続走行を行ないセッション3は終了となった。

2時間のインターバルを経て開始された最後のセッション4。午前中のセッション3と同様に中山選手がロングランテストを行なう。約40分の連続走行で26周を周回し、午前中と併せて約50周のマイレージを稼いでロングランのデータを収集。2時間のセッションの後半になるとK-tunes RC F GT3には新田選手が乗り込み、タイヤやマシンの最終確認を実施した。

2日間に亘ったSUPER GTの公式テストは、トラブルフリーで予定していたメニューをしっかりと消化することができた。二人のドライバーの合計周回数は189周を数え、実に3レース分の距離を走ることとなった。ツインリンクもてぎは、RC F GT3にとって決して得意なコースではないというが、チームも両ドライバーも想像以上のペースで走れたといい、充実したテストとなった。SUPER GTの2018年シーズンは残り2戦となったが、今回のテストで得たデータを基にして、両戦ともに上位進出を目指すことになる。



Team Comment



Director : 影山 正彦

1日目のタイムはトップ10圏内に入っていましたが、2日間はロングランを中心としたテストだったため上位に入っていません。ですが、最終戦の予選と決勝レースを想定した貴重なデータが獲れたと思います。トラブルもなく十分な走行時間があったので、タイヤとの相性やセットアップの方向性も見えてきました。このデータを基にチームで解析を進めます。前戦のスポーツランドSUGOでは、レース以外のところでミスがあってポイントを失いました。残り2戦はもう一度、気を引き締めて臨み、両戦ともに上位に入って今シーズンの締めくくりとしたいです。



Driver : 新田 守男

2日間にわたって充実したテストができました。今回の内容からすると、最終戦のツインリンクもてぎラウンドではライバル勢と戦えるマシンが作り上げられそうです。初日と2日目ではセットアップを変更してテストを行なったのですが、どんな方向がRCF GT3にマッチしているかも確認できましたし、様々なデータも獲れました。今シーズンは、第3戦の鈴鹿サーキットで優勝できましたが、それ以外のレースで戦績を残せていません。あと2戦なので両方とも確実にポイントを獲得し、できれば表彰台に登りたいです。



Driver : 中山 雄一

最終戦のツインリンクもてぎラウンドを想定したテストだったのですが、事前に思っていたよりペースも良く、濃い内容のメニューがこなせました。数種類のタイヤを比較することができましたし、そのキャラクターに合わせたセットアップも見つかりました。2日目のセッションでは、ライバル勢と同様にロングランのテストも行ない、決勝レースでの足りないところも確認できました。今シーズンも残り2戦となってしまったので、RCF GT3のポテンシャルを余すところなく引き出して、好成績を収めたいと思います。

